

令和4年3月9日

令和3年度修紅短期大学附属認定こども園学校関係者評価

1、学校関係者評価者

修紅短期大学附属認定こども園 PTA 会長	遠藤 祐樹 様
修紅短期大学附属認定こども園 PTA 副会長	小岩 久美子 様
”	大西 香織 様
”	小岩 美代子 様
修紅短期大学幼児教育学科長	鈴木 美樹子 様

以上5名

2、学校関係者評価次第

- ① 園長挨拶
- ② 運営状況報告（資料1、資料2—要覧）
- ③ 自己評価報告（資料3）
- ④ アンケート報告（資料4）
- ⑤ 評価者講評
- ⑥ その他

修紅短期大学附属認定こども園

(1) 令和3年度事業報告

(教育・保育の質の向上)

- ・ 5年ほど前から行ってきた教育保育の質向上を目的とした公開保育を2年ぶりで開催することができた。昨年度は、コロナ感染症が一関市内においても確認されていたことから中止としたが、今年は感染の状況を見ながら予定より1か月ほど遅くはなったが開催することができた。開催の案内は、一関市内の小学校、幼稚園、こども園、保育園、教育委員会、福祉課へ行き35名ほどの参加者があった。公開保育に向けた取り組みは、月に2回ほどの園内研修や、一関市の学校教育課指導主事が講師を務めた勉強会などを行ってきた。本園の公開保育は、主催者側であることから、多くのエネルギーを使うことになっているが、先生方の質の向上に大きく作用し本園の教育保育の質の向上へつながっている。

(運営)

- ・ 少子化が進む現状の中、本園でも定員を大きく下回る園児数となった。今後も少子化は進む傾向が続くと思われるが、経営の安定を図り、子ども達の教育環境の質を落とすことなく運営を継続させるためにも園児数の確保は重要な課題となっている。
- ・ コロナ禍の中、保護者の方々に園での子供たちの生活の姿を直接お見せすることが困難な状況が続いている。そこで、少しでも園でのお子さんの生活の様子を知っていただくための情報提供に取り組んだ1年であった。これまで、スナップ付きのお便りや写真販売などを通して、お子さんの表情や生活の様子を伝えてきたが、今年度は新たにYouTubeを利用した動画配信にも取り組んできた。今後も取り組みの継続を図っていく。

(2) 令和3年度定員充足率 定員 240名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実員	201	201	206	208	209	212	214	212	216	217			213人
充足率	84	84	86	87	87	88	89	88	90	90			89%

(3) こども園運営について行政からの指導、指摘事項について・・・無し

(4) 新型コロナウイルスに係る感染予防策

- ・ 感染予防…来園者の体温測定およびマスク着用の徹底。園舎内の消毒。手洗いの徹底等。
  - ・ 県独自の緊急事態宣言…来園者の園内入室の制限。
- ※今後も感染状況を見ながら臨機応変に対応を行う。

(5) 安全対策関係報告（保険対応）

- ・ 5月 左鎖骨骨折 4歳児 ビオトープ 転倒
- ・ 6月 左中指環指挫減創 5歳児 園舎内廊下 扉に挟む
- ・ 12月 左目付近 5歳児 園舎内廊下 鞆掛けにぶつかる

以上3件

## ①令和3年度自己評価結果

資料3

### 【本園の教育・保育目標】

「にこにこ ぴんぴん みんな なかよく なにかで ひとより」

### 【令和3年度 重点的に取り組む目標】

#### ○教育課程の充実(幼小連携)

幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直しと 幼少の連携

#### ○保護者への情報提供

園だより・学年だより・クラスだよりの発行や個人記録、連絡帳による保護者への情報提供

### 【令和3年度重点的に取り組んだ具体的項目とその設定理由】

#### A 幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直しと幼少の連携

#### 〔step1〕幼児理解につながる記録の工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・子ども達と丁寧に向き合いながら指導計画を見直し、日週案や月案を作成する。
- ・個人記録の記入をすることで、一人一人の日々の様子やかかわり方を振り返る。
- ・写真を見ながら場面の記録に残し、読み取りをする。
- ・メモや写真を撮ることで記録を残す。
- ・ねらいに応じた環境構成をし、子ども達の様子や姿、成長した部分等注目する。

#### 〔step2〕各自で工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・子どもの様子から、教材の準備をする。
- ・危険なところの原因を確かめ再発防止に努める。
- ・保育室内のスペースを考え、子どもの遊びに合わせて材料の準備をする。
- ・子どもの興味関心に合わせた活動内容にする。
- ・保育室に写真やコメントを添えたものを掲示する。

#### 〔step3〕各学年で工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・年齢や子どもの様子、成長に合わせた環境構成を考える。
- ・送迎の際にその日の様子等を口頭で伝える。
- ・子どもの興味関心をよく観察し、教材の準備を整える。
- ・指導案作成にあたり、子ども達の様子や成長に合わせた環境の工夫や援助の方法を職員間で話し合う。

#### 〔step4〕園全体で工夫

##### \* 環境の工夫や見直し

- ・毎月の安全点検において、子ども達が安全に安心して過ごせるような環境を意識する。
- ・園内研修の場で、事例に挙げた事柄から読み取れる10の姿にあてはめ、意見交換をすることで、子ども理解を深める。
- ・子どもの成長に応じて必要な援助や育ててほしい姿を考えながら保育を進める。
- ・コロナ感染防止を考慮しながら、その時々状況に合わせた園行事の取り組み方を工夫をする。

##### \* 幼少の連携

- ・教育委員会から講師を招き、幼小の接続についての講話を聴く。
- ・幼小交流会に参加し、学校への憧れや就学への期待がもてるようする。

## B 園だより・学年だより・クラスだよりの発行や個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

### [step1] 情報提供に向けた成長の記録の工夫

- \* 園だより・学年だより・クラスだよりの発行
  - ・個々の記録をしっかり記入し、成長の様子を把握する。
  - ・担任と副担任との連携を図り、保護者への伝え方の工夫をする。
- \* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供
  - ・副担任と一日の子ども達の様子を伝え合い、思いを共有しながら記録する。
  - ・YouTubeでの動画配信で、園での姿をリアルに伝える。

### [step2] クラス全体の様子を伝える工夫

- \* 園だより・学年だより・クラスだよりの発行
  - ・おたよりを通して、子ども達の様子を知らせ、家庭でも取り組んでほしいこと等の発信をする。
  - ・クラスだよりで遊びや生活、行事や制作等への取り組みの様子を、写真に文章を添え伝える。
- \* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供
  - ・にこぴん記録を通して、個々の成長の姿を知らせる。
  - ・YouTubeでの動画配信で、園での姿をリアルに伝える。

### [step3] お便り等の発行を通して、保護者へ伝える工夫

- \* 園だより・学年だより・クラスだよりの発行
  - ・写真を掲載し、場面の状況がイメージしやすいようにする。
  - ・わかりやすく、読みたくなるようなレイアウトを意識する。
- \* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供
  - ・連絡帳や口頭で子どもの様子をわかりやすく伝える工夫をする。
  - ・保育教諭の思いや、子どもとのかかわりについて掲載する。

### [step4] 一人一人の成長の様子や園生活の様子をそれぞれ十分に伝える工夫

- \* 園だより・学年だより・クラスだよりの発行
  - ・担任、副担任との連携や、職員間での情報交換を意識する。
  - ・クラスだよりは月2回の発行を心掛け、タイムリーな子ども達の様子を伝える工夫をする。
- \* 個人記録・連絡帳による保護者への情報提供
  - ・毎月の様子や成長の姿を個人記録として保護者へ伝える。
  - ・家庭での様子も聞くようにし、情報共有を心掛ける。

令和3年度 自己評価シート まとめ

【令和3年度重点的に取り組んだ項目とその評価結果】

A 幼児一人一人の実態や生活に即した環境の工夫や見直しと幼少の連携

[step1] 幼児理解につながる記録の工夫

◎ 具体的項目

- ・記録としてこまめにメモを取り、忘れないようにする。
- ・写真を通して、遊びの変化や友達とのかかわりを読み取る。
- ・公開保育に向けて事例を挙げ、子どもの姿の読み取りを行う。

◎ 評価結果

- ・写真やコメントを添えて情報を提供することで、わかりやすく伝えられた。
- ・場面の読み取りが深まり、遊びのきっかけやかかわり方の参考になった。
- ・園内研修で年齢による成長の違いについて考える機会がもてた。

[step2] 各自で工夫

◎ 具体的項目

- ・年齢に応じた保育環境を心掛け、工夫した。
- ・子ども達が安全に安心して過ごせるよう常に確認しながら保育に当たった。
- ・遊びのコーナーを整備し、のびのびと好きな遊びができるよう準備した。

◎ 評価結果

- ・子どもの成長に合わせた工夫をすることで、目標をもって日々の保育に当たることが出来た。
- ・気づいたことは早めに報告や相談をし、安全を確保する工夫をした。
- ・遊びが継続し、明日への意欲と期待感を与えることが出来た。

[step3] 各学年で工夫

◎ 具体的項目

- ・指導案作成や保育の計画をよく話し合う。
- ・楽しく安全に遊べる場所を意識して環境の工夫をした。
- ・小学校との交流会に参加し、小学生へのあこがれの気持ちを抱く。

◎ 評価結果

- ・この時期に育ててほしいことを重点的に考え、計画を立てた。
- ・保育室の整理整頓をしながら、子ども達が楽しめる空間づくりが出来た。
- ・小学校の雰囲気や進学への期待が膨らみ、貴重な経験が出来た。

[step4] 園全体で工夫

◎ 具体的項目

- ・園内研修や公開保育を通して今後の保育について考えた。
- ・室内外の危険箇所や直した方が良いところなどは、毎月安全点検を行い確認する。
- ・安心して安全に過ごせるためにも、職員間で話し合いの機会をもつ。

◎ 評価結果

- ・子ども達の姿を様々な方の視点で見てもらうことで、新たな気づきがあった。
- ・安全点検をすることで、危険回避に繋がった。
- ・環境構成についてもっと話し合いの場を設ける必要がある。

B 園だより・学年だより・クラスだよりの発行や個人記録・連絡帳による保護者への情報提供

[step1] 情報提供に向けた成長の記録の工夫

◎ 具体的項目

- ・様々な視点からの記録を心掛ける。
- ・メモや写真での記録を取り、保護者にわかりやすく伝える工夫をする。
- ・子どもの頑張りや、頑張っているところも記録し、保護者に伝える。

◎ 評価結果

- ・様々な角度や視点からの情報の重要性に気づいた。
- ・写真にコメントを加えることで、場面の状況がイメージできたと思う。
- ・家庭での様子も知らせてもらう事で連携が取れた。

[step2]クラス全体の様子を伝える工夫

◎具体的項目

- ・クラスだより作成の際に写真にコメントを添える工夫をする。
- ・子ども達の遊びの様子や行事への取り組み等の様子を伝える。
- ・エピソードを入れたコメントを連絡帳に記入する。

◎評価結果

- ・クラスの雰囲気良く伝わったと思う。
- ・毎月のYouTubeの配信により、子ども達の日常を伝えることが出来た。
- ・より伝わりやすい文章を書くことを意識した。
- ・子どもの姿の変化や成長をわかりやすく伝えられた。

[step3]お便り等の発行を通して、保護者へ伝える工夫

◎具体的項目

- ・バランスを考え、写真の掲載に偏りのないようにする。
- ・成長の様子や発達過程を知らせる。
- ・小さな成長も大切に伝える。

◎評価結果

- ・全員が載るように工夫し、おたより作成が出来た。
- ・直接送迎時に伝えたり、おたよりを通して伝えることが出来た。
- ・担任との情報交換に努め、保育にも活かし、保護者にも丁寧に伝えられた。

[step4]一人一人の成長の様子や園生活の様子をそれぞれ十分に伝える工夫

◎具体的項目

- ・送迎時に保護者とのコミュニケーションを図る。
- ・子どもの興味を示していることや、出来るようになったことをその都度伝える。
- ・個人記録や連絡帳にはできるだけ具体的な内容を伝える工夫をする。

◎評価結果

- ・自分の個性を生かし、伝え方を工夫することで、わかりやすく伝えることが出来た。
- ・送迎の際の保護者との会話で、より詳しく伝えられると感じた。
- ・担任との情報共有を欠かさず、体調の変化や怪我の報告も欠かさずできた。

## アンケート結果

## 【令和3年度の本園の運営について】

## ① 情報発信

## ◦YouTube

- ・自宅ではわからない日頃の園生活の様子がすごく伝わり良かった。
- ・これからも続けてほしい。
- ・普段のざわざわした音や子ども達の声があるともっと良い。
- ・写真で伝わらないことも非常に多く、ほっこりする。
- ・一人一人を長めに撮ってくれるとわが子を見つけやすい。
- ・離れた家族とも共有できて良い。
- ・もっと見やすい映像を期待する。

## ◦おたより

- ・成長の見通しが分かり参考になる。
- ・お泊りの入浴写真は胸やお尻が映らないような配慮がほしい。
- ・協力してほしい日に関しては早めに知らせてほしい。
- ・同じおたよりは兄弟は上の子だけで良い。
- ・園長先生のおたよりが面白いのもう少し増やしてほしい。

## ◦連絡帳

- ・丁寧書いてくれたり、気になることも対応してくれて嬉しい。安心です。
- ・もっと細かく連絡帳で教えてほしい。
- ・子どもとの会話が増える。

## ◦にこびん個人記録

- ・先生方が大変かと思うが、良い思い出になります。
- ・子どもの成長が伝わり嬉しい。
- ・家でも取り組めるよう、気になることも教えてほしい。
- ・友達や先生とのかかわりが分かり、楽しみにしている。

## ◦メール

- ・保健のお知らせは受診時に聞かれるのでクラス別の情報もほしい。
- ・お弁当の日以外の持参日の通知もほしい。
- ・感染症の通知はありがたい。

## ② 新型コロナウイルス感染症対策について

- ・迅速な対応がありがたい。
- ・夕方0,1,2歳児が同じ部屋で過ごしているが、感染拡大時だけでも各部屋で過ごしてほしい。
- ・マスクやアルコール消毒はできる年齢の子にはさせてほしい。他園ではその点を徹底している。
- ・具体的にどのような対策をしているのか教えてほしい。
- ・途中入園なので面談時に感染症対策について説明してもらいたかった。
- ・先生方の負担が多くなっているのではと心配している。保護者にしてほしいことがあれば言ってほしい。
- ・今後も子ども達が安心して通えるような環境づくりをお願いします。
- ・コロナに限らず他の感染症もなく過ごせ、見えないところでの先生方の対応や対策に感謝します。
- ・対策は良いが保育参観がないので、親同士が顔を合わせることがなく、誰の親なのかかわからず残念。
- ・体温の報告をしなくても良いのかと思う。
- ・初期の風邪症状でも登園しても良いかどうか迷うので、明確な基準があると助かる。
- ・親から子どもに感染させないよう気を付けます。
- ・アルコール消毒がない時があるので、チェックしてほしい。
- ・園と家庭との協力した対策が必要。
- ・玄関で子どもを待っている間が密な状態になり不安。
- ・玄関での引き渡しの際に対応する職員が少ない。
- ・もっと感染が拡大した際にマスクなしでの登園が不安。
- ・マスクの一日着用は難しいが、明確な案内があると良い。修紅はその点ゆるい。
- ・年中、年長児にはマスクの着用をしても良いのではと思う。
- ・手洗いうがいの仕方を教えてもらい上手にできるようになった。
- ・いつ感染者が出てもおかしくない状況だが、様々な対応をしてもらい安心して預けられる。
- ・玄関のアルコールの数を増やしてほしい。
- ・学校では感染防止の為、歯磨きやうがいを中止にしているので、園でもしない方が良いのではと思う。
- ・免疫力UPが一番の感染症対策になるので、たくさん太陽を浴び過ごせる環境を設けてもらい感謝。
- ・不特定多数の人がタッチパネルを触れるのが気になる。触れずに管理できるアプリがある。
- ・園の連絡体や土日の緊急連絡先等を教えてほしい。

- ・マスクの持参をしたほうが良い。
- ・先生方のマスク着用で、口元や表情が見えないのが気なる。マウスシールドの検討をしてみてはどうか。
- ・マスク着用の自由はありがたい。

### ③ 園行事

- ・できる範囲で開催してもらい良かった。
  - ・友達と一緒に新しいことを経験出来ていて嬉しい。
  - ・縮小ではあったが観られて良かった。
  - ・いつも子ども達を一番に考えてくれてありがたい。
  - ・分散でも良いのでやってほしい。
  - ・他の保護者との交流がなく寂しい。
  - ・現地集合でも良いので親子遠足があったら楽しい。
  - ・平日開催は夫婦そろって休みを取るのが大変。
  - ・子ども達のやる気や成功した時の感動を一緒に感じられ良かった。
  - ・コロナ感染対策もしっかりしていた。
  - ・誕生会の様子も動画で配信してくれた、様子を知ることが出来て良かった。
  - ・参観日を開催してほしかった。実際の様子を見たかった。
  - ・行事も YouTube 配信してほしい。
  - ・練習風景から本番までの DVD 等あるとより成長を感じられると思う。
  - ・他の学年も観てみたかったが、学年ごとだと集中して見られるのでそれも良かった。
- 生活発表会
- ・入場制限したほうが良かった。
  - ・高校生の手伝いは接触が気になった。外部との接触は控える対応をしてほしかった。
  - ・成長を感じることが出来良かった。
  - ・何部かに分けてもらおうと席に余裕をもって観ることが出来る。
  - ・時間差の対策はスムーズで安心感があってよかった。
- 保育参観
- ・感染者が減った時期に分散や人数制限等、工夫して開催してほしい。
  - ・窓越し参観でも良いのでしてほしい。
- 運動会
- ・学年別の開催良かった。
  - ・学年ごとの方が子どもの表情もよく見えて、写真も撮りやすかった。
  - ・子どもを近くで応援することが出来て良かった。

### ④ 体験教室

- ・入園の決め手になったので、今後も実施してほしい。
- ・わからないことが多い。(頻度、内容、案内のタイミング等)
- ・英語はもう少し下の学年からでも良いのではないか。
- ・園生活の中で経験でき、送迎もなく完結するので良い。
- ・関心をもつきっかけになる。
- ・子どもが楽しみにしている。
- ・選択肢が多く、可能性が広がり良い。
- ・活動の様子の写真や動画をもっと観たい。
- ・専門の先生の指導が受けられるので良い。
- ・コロナで見学が出来ず残念。
- ・もっと回数が増えたら嬉しい。
- ・メリハリがあり良い。
- ・就学前の基礎が作れてよい。

### ⑤ 給食

- ・栄養満点で、バランスも良くありがたい。
- ・子どもの成長に合わせた提供がありがたい。
- ・野菜を育てて食べる体験は子どもにとって良い。嫌いな野菜が食べられるようになった。
- ・献立表のデジタル版があると良い。
- ・未満児食の試食会もあれば、味付けの参考になる。
- ・箸への取り組みについて詳しく教えてほしい。
- ・手作りおやつが嬉しい。
- ・自園調理方式になり、安心。
- ・子どもとの会話の一つになっている。
- ・ピザや焼きいも等、喜んでいいる。



- ・完食が増えて嬉しい。
- ・給食の献立を家でも取り入れている。
- ・新しい発見がある。
- ・土曜日保育も給食があると良い。
- ・好き嫌いが減り、苦手なものにも挑戦する気持ちが育った。
- ・ラーメンやかつ丼等もメニューにもあると楽しそう。
- ・試食したが、手が込んでいておいしかった。
- ・補食としてのおやつが増えて良かった。
- ・安全上、可能であればナッツ類は避けてほしい。
- ・家で食べない食材（きゅうり、レバー等）も食べてくれるので助かる。
- ・パン給食が復活してよかった。
- ・バイキング給食もあると良い。
- ・パン作りやかき氷、ピザ、焼いもを目の前で作ってその場で食べる等食育として素敵です。
- ・給食だよりももう少しレシピを載せてほしい。
- ・アレルギー対応してもらいたい。
- ・常に作りたての温かい給食の提供はありがたい。
- ・調理している音やおいしそうなおい等食欲や五感の刺激になっている。
- ・ハンバーガー等自分で具材を挟んで作って食べることは良いと思う。
- ・給食だよりの旬の食べ物の効果やレシピを参考にしている。
- ・給食カードで様子がわかり参考になる。
- ・食事の大切さを、媒体やエプロンシアター等で教えてほしい。
- ・展示の給食を通して子どもとコミュニケーションが図れる。
- ・福島県産の食材は少し不安。
- ・小麦粉系のおやつが多い印象。
- ・お弁当の日が続く週や月は分散してほしい。
- ・ほぼ毎日果物が出で良い。牛乳も出してもらおうとありがたい。
- ・ごはん持参がなくなり助かる。
- ・親子で給食を食べる機会があったら良い。（コロナがなかったら）

⑥ その他

- ・欠席連絡をメールで行えるシステムを導入してほしい。
- ・登園時間帯に玄関や廊下で走り回っている子ども達に声掛けをしてほしい。（危ないと思うので）
- ・写真販売のスパンをもっと短くしてほしい。（枚数が多い）
- ・販売の写真のピンボケは削除してほしい。
- ・朝の保育室の室温が低すぎる。
- ・職員紹介のおたよりをまた出してほしい。
- ・園での様子を聞くことで見守られているようで安心する。
- ・今後もユニークな企画を期待します。
- ・アンケートフォームを利用してはどうか。記入楽、集計も楽。
- ・コロナ禍で先生と話す機会がなく寂しい。
- ・物騒な世の中、園児、職員を守るためにもセキュリティをしっかりとしてほしい。
- ・年賀状とても楽しかった。
- ・お誕生会にはもっとケーキを食べたかったようです。
- ・誕生会とお弁当の日は分けたほうが良い。
- ・ベルマークを集めているので、2～3か月に1回くらい収集箱の設置をしてほしかった。
- ・駐車場マナーが悪いと思う。譲り合いが出来ていない。
- ・駐車場で、子どもをほったらかして話し込んでいる親の姿もある。

## 令和3年度修紅短期大学附属認定こども園学校関係者評価結果

### ○評価者 1

- ・ コロナ禍の中、日常の保育もなかなか難しいと思うが、教職員一丸となっていていろいろな工夫をしての行事開催は素晴らしいと思う。
- ・ 少子高齢化の中、子どもが成長する姿、子どもとのふれあいを地域の中でニュース、新聞等で見ただけでも元気になり、癒される人たちも多いと思う。「子どもは地域の宝」という方もいるが、コロナ禍の中、子どもの笑顔、にぎやかな声は「宝」と思う。
- ・ 立場上、地域の声を聞くことも多く、修紅こども園の評価は高い。保護者だけでなく地域の皆様に信頼されるということは、若い保育士の人材育成も確実に向上していると思われる。

### ○評価者 2

- ・ 園行事や社会環境の変化に対する保護者の捉え方も多様な中で、工夫し子どもにも保護者にも寄り添う形で対応して頂けたと満足している。こども園はこどもの“場”です。忙しく時間に追われる毎日の中で、つい私達は自分自身の事情を優先し、物事を捉えてしまいがちですが、その園を選び通わせる選択をしたのは自分自身であること、選んだ保護者側の責任とは...ということを考えてしまう。保護者個人の都合（自分の都合）の前に、一步譲ってプロである先生たちの理想とする保育や教育環境を提供できないだろうかと考えます。信頼し委ねた時、相手はその信頼に応えようとします。お互いの関わりの中で、園も私達保護者も共に成長し信頼していくこと、譲り合い和とすること等、人として本来学ぶべき大切なことを大人がその姿を見せていくことで、結局は子どもにも善い影響を与えていくのだと思う。我が子も他の子もこれからの世を担う大切な大切な宝です。園にはぜひこれからも子ども達の“今”、“これから”という視点で軸のある保育、教育をお願いしたい。

### ○評価者 3

- ・ コロナが始まり、今までの普通が普通ではなくなり園生活も様々なことが変化してきたが、先生方のお陰で大きな混乱もなく生活が送れていることに感謝している。まだまだ続きそうだが親としてできることをしっかりしていきたいと思う。
- ・ YouTube 配信やおたよりは園に行く機会が減ったので、すごくありがたい。

### ○評価者 4

- ・ コロナ禍で出来なかった事、制限のあった中での機転を利かした対応等、よく考えてくれ、子ども達ものびのび活動できたことに感謝する。